

船舶インシデント調査報告書

令和3年2月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（機関故障）
発生日時	令和2年8月16日 14時05分ごろ
発生場所	愛知県弥富市鍋田ふ頭北方沖 名古屋港高潮防波堤中央堤西灯台から真方位348° 1.1海里付近 (概位 北緯35° 01.6′ 東経136° 47.8′)
インシデントの概要	プレジャーボートヴァン・ベールは、漂流中、船外機が停止し、再始動できなくなり、運航不能となった。
インシデント調査の経過	令和2年8月25日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート ヴァン・ベール、5トン未満（長さ6.80m） 240-40499愛知、個人所有 ガソリン機関、船外機、2サイクル、出力103.00kW、回転数 毎分5,500、4気筒、ボア90mm、使用燃料ガソリン、平成7 年製造
乗組員等に関する情報	船長、二級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 3、視界 良好 海象：海上 平穏
インシデントの経過	<p>本船は、船長1人が乗り組み、友人3人を乗せ、釣りの目的で弥富市富浜沖で船外機を停止して釣りを行った後、船長が帰航しようとして船外機を始動したところ、船外機が異音を発生して停止した。</p> <p>船長は、船外機を再始動しようとしたが始動できず、原因を調査したものの判明しなかったため、航行不能と判断して118番通報を行い、本船は来援した巡視艇にえい航され、その後友人の船に引き継がれて定係地に着岸された。</p> <p>船外機修理業者は、本インシデント後、原因を調査したところ、シリンダ及び燃料油配管系統のガスケットが破れ、シリンダ内及びキャブレター内部に水分の混入を認め、ピストン及びクランクシャフトが焼き付き、船外機が停止したものと判断した。</p> <p>本船は、平成7年に船長が購入して以来、月に4回程度出航していたが、今まで不具合が発生したことがなかったため、船外機の開放整備を実施したことがなかった。</p>
分析	本船は、約25年間船外機の開放整備が行われていない状態で漂流中、船外機を始動した際、シリンダ及び燃料油配管系統のガスケット

	<p>が破れ、船外機の潤滑油に水分が混入したことから、ピストン及びクランクシャフトが焼き付いて、船外機が停止し、運航不能となったものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本インシデントは、本船が、約25年間船外機の開放整備が行われていない状態で漂泊中、船外機を始動した際、シリンダ及び燃料油配管系統のガスケットが破れ、船外機の潤滑油に水分が混入したことから、ピストン及びクランクシャフトが焼き付いて、船外機が停止したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>再発防止策</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 船舶所有者は、定期検査等で船外機の開放検査を実施し、ガスケット等の部品を定期的に交換することが望ましい。